

Chartered April 11, 1998

# THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

Address : Yoshio Iida 1-2-2 Moriminami-cho Higashinada-ku, Kobe 658-0011, JAPAN  
 Mail : [y-iida@jpu.co.jp](mailto:y-iida@jpu.co.jp) Phone : 078-452-3973  
 URL : <http://www.kobeymca.or.jp/ys/ashiya/>



**主 題**  
 国際協会会長 Kevin Cummings 「一つとなる力」  
 「The Power of One」  
 アジア地域会長 Chon Byung-Koo 「夢見るアジア、愛するアジア」  
 「Dreaming Asia, Loving Asia」  
 西日本区理事 鈴木誠也 「すべてのいのちを大切に！」  
 "Love & Care for All the Living Things"  
 —いのち・平和・環境—  
 —Life, Peace, Environment—  
 六甲部部长 大田厚三郎 「希望の灯(ともしび)となろう」  
 「Be the Light of Hope」  
 芦屋クラブ会長 飯田義雄 「愚直に歩もう」  
 "Let's Advance Day by Day"

会 長 飯田義雄  
 直線会長 柏原佳子  
 副 会 長 井上雅司 島田 恒  
 書 記 堀江哲次 都筑省三  
 会 計 羽太英樹 堤 清  
 監 事 都筑省三 田舎庸男  
 連絡主事 橋本 潤  
 六甲部EMC事業主査 福原吉孝

**11**  
 Nov. 2009  
 第150号

## 11月 Public Relations (PR) Wellness

堀江哲次



私たちの社会生活のなかで、人と人のつながり・出会いは無視できません。このなかで情報発信の重要さは言うまでもありません。私は7月から第2例会の報告を作成し、その抄録をプリンで皆様に見て頂き、また第1例会で会長より報告して頂いています。

第2例会では面白い企画のあるときや、問題提起のあるときやいろいろな先輩たちのワイズメン活動への思いを知ることが出来て、これは自分の成長と学びの場になるといつも感心させられています。クラブのなかで「人から人へと伝え広げる情報」という自然な私たちの重要な流れが出来ているのではないかと感じます。広い意味でこの人から人へと伝え広げる情報が、ボランティア活動の知恵と力を生む1つの原点と思います。例会の活性化、さら祭りなどの地域活動、チャリティーラン・YYフォーラム・留学生交流等のYMCAとの協働を地道に継続・活動して行くことが、下記西日本区11月強調月間のポイントにつながるものと信じます。

ワイズデーに呼応した活動計画と実績をマスメディアに取り上げてもらう。ワイズメンズクラブの社会的認知度を高め、ワイズメンであることに誇りをもって、EMCやクラブの活性化につなげましょう。長谷川和弘(広報事業主任)

### 今月の聖句

千年といえども御眼には昨日が今日へと移る夜の一時にすぎません。生涯の日を正しく数えるように教えてください。知恵ある心を得ることができますように。

詩編 90:4 & 12

### 11月第1例会プログラム

- と き : 2009年11月18日(水) 19:00~21:00  
 と ころ : ホテル竹園芦屋 3階  
 司 会 : 上野恭男 (敬称略)  
 受 付 : 羽太英樹・福原吉孝
- 開会点鐘 飯田義雄会長
  - クラブソング斉唱 一同
  - 聖書朗読 羽太英樹
  - 「3分間スピーチ」 都筑省三
  - ゲスト・ビジター紹介 飯田義雄会長
  - 食前感謝 堀江哲次
  - 食事・歓談 一同
  - スピーチ かめのすけ代表  
 「障害をお持ちの方々の生活」 三宅直基氏
  - ニコニコ(いい事一言) ドライバー
  - 議事・報告
    - 第2例会議事録承認 飯田義雄会長
    - 各事業報告 各事業委員
  - YMCAニュース 橋本潤連絡主事
  - 誕生祝い 飯田義雄会長  
 堤 清・飯田ふみ子・福原美鈴
  - ニコニコ献金報告 福原吉孝 (ファンド)
  - 閉会点鐘 飯田義雄会長

### 10月例会出席表

第1例会出席者		例会出席率		BF切手 (累計)
メンバー	14名	出席者	14名	44gm (710gm)
ビジター	3名	メイキャップ	2名	吉岡・町永
ゲスト	1名	合 計	16名	(敬称略)
メネット	名	在籍者	18名	ニコニコ (累計)
合 計	18名	出席率	88・89%	8,800円 (43,435円)

## 10月第1例会報告

日時：2009年10月21日(水)

場所：ホテル竹園芦屋 3階

司会：井上雅司 (敬称略)

出席者：飯田会長、井上、上野、柏原、加輪上、桑野、都筑、堤、羽太、福原、堀江、吉岡、渡辺、橋本連絡主事

スピーカー：辻野ナオミ=ネグロス教育里親運動(NEHA)

宝塚会会長

ビジター：鈴木誠也(西日本区理事)、加茂周治(神戸西)、青柳正志(宝塚)

今月は「NEHA」(ネグロス教育里親運動)をテーマに「NEHA」宝塚会会長の辻野ナオミさんをゲストスピーカーに迎えての例会です。ビジターには「NEHA」宝塚会の青柳正志メン並びに辻野さんと関わりの深い方々が参加されました。例会は飯田会長の挨拶・開会点鐘に始まりクラブソング斉唱、羽太メンによる聖書朗読があり、クラブのチャーターメンバーならびに入会順に行われる「3分間」スピーチを今回は堤メンが、24名で発足したクラブ設立の背景と当時の状況について話され、今後のワイズは会員の協力によって前途洋々であると結ばれた。



強く語る辻野ナオミさんと見守る青柳メン

スピーチの内容について簡単に紹介します。ネグロス島はフィリピン北東に位置し「砂糖の島」と呼ばれる砂糖生産を基幹産業とする島でした。1980年頃から世界的砂糖需要の減少、価格の暴落並びに国内における政情不安、インフレ等によって島民は貧困という悲惨な状況に陥ってしまいました。「NEHA」は、こうした状況下で国家・人種・宗教・思想を越えて、国の将来の担い手である子ども達に奨学金をとおして里親と里子の心と心の交流を促進させる運動で、民間段階で日本とフィリピンの友好をはかるうとするものです。プログラムは1、就学金制度、2、教育設備充実活動 3、識字教育活動 4、福祉活動 5、生活自立支援活動 があり、辻野会長から、フィリピンの現状と今後そして困窮家族の子ども達の実情について映像を示しながら熱く語られました。・・・「1日50円・年間15,000円でネグロスの子どもの生活は変わる」・・・(15,000円は幼稚園・小学生奨学金の年会費ですーこれで子ども達を就学させる事ができます。)

スピーチ終了後、支援方法についての質問並びに支援方法に対する提案等がありました。

最後に各事業委員、YMCAよりの事務連絡と当月誕生日の方の紹介とお祝い、ニコニコ献金の結果報告があり飯田会長の閉会点鐘で例会は終了しました。 井上雅司

### トピックス

今年の秋の叙勲で町永昭五さんが「瑞宝中綬章」を受けられました。9日にはご夫妻で文部科学大臣から受賞の後天皇に拝謁のため皇居に行かれます。詳しい事は次号で

## 今月のスピーカー

特定非営利活動法人 かめのすけ代表 三宅直基さん  
関西学院大学卒業後、青年海外協力隊隊員・重症心身障害者通所施設「朋」・西宮市社会福祉協議会「青葉園」等を経て、任意団体おおば介助者の会「かめのすけ」設立、障害をもつ方々の介助を行っている。

## 西日本区部会訪問(Ⅱ)

9つの部会の全参加をこなし、我ながらアツパレと自身をも褒めてあげたい気分です。♪

キャビネットはなによりチームワークを大切に一連の部会参加に望みました。その中で会議では見られない交わりがあり、発見があり個性を認め合い長所を活かし欠点を補えるようになっていように思えます。西日本区ホストクラブの西中国部様とも「ええじゃん踊り」を通じてより深い絆が持たように思います。西中国部部会は来年の西日本区大会のホストクラブということで盛り上がり、なによりあの懇親会の場のロケーション、天候に祝福され夕日を眺めながら人はお互いに語りあい、語り継ぐことができる幸せが奉仕の心を育てるのだと改めて思いました。最後に横浜大会のアピールのためにすべてに参加された時期国際会長のお礼文の抜粋をお読みください。 柏原佳子

\*\*\*\*\*

毎週同じ方がたとお会いするうち、次にお会いするのが楽しみになり、そして先週で最後だと思ふとちょっと悲しい気持ちになりました。どうぞ22年ぶりに日本で開かれます国際大会を皆様の方で盛り上げていただくと心を願っております。来年の西日本区大会につづき、8月の国際大会で必ずお目にかりましょう。本当にありがとうございました。

藤井寛敏(東京 江東クラブ)

国際大会2010年横浜 HC 委員長・次期国際会長

## 2009年じゃがいもファンド報告

恒例のじゃがいもファンドであるが、今年は、じゃがいもの値段、運送代金の改訂が懸念され心配したが10月9日(金)夕方に無事に終了する事が出来た事を報告する。毎年濱様宅の倉庫に大きなトラックで大量のじゃがいもが配送されてくる。芦屋クラブの面々も濱様宅に18:00、集合しトラックからの荷物降ろしと配送に奮闘した。芦屋クラブの発注量は120個であり昨年と殆ど同じ数量であった。ただし西宮クラブは数倍であり、濱様宅には1000個に近い数量が倉庫に降ろされ驚かされる。例年通り西宮クラブ、芦屋クラブからの参加者で荷降ろし、数量確認、じゃがいも配送車に積み込みが行われた。恒例の行事であり、参加者は、手馴れた様子でそれぞれの役割を楽しそうに、しかも肅々とこなし順調に進行出来た。じゃがいもは、毎年注文して頂く方が多く配送も大変スムーズに短い時間であっという間に終えること出来た。十勝から来るじゃがいもの新鮮さとその味の良さが好評で芦屋クラブのじゃがいもの知名度が定着してきてリピータが次第に増え芦屋クラブの重要な行事となってきた。収支の点は例年通りでファンドとして面目が保てた。反省点は連絡不徹底から当日参加の心づもりの方が、お手伝いが出来なかった点があり、ご迷惑を掛けた事をお詫び申し上げます。今年も皆様の協力が無事終了した事を感謝し、これからは飯田会長以下、芦屋クラブ全員で頑張りたいたいと思う。 ファンド委員 福原吉孝

## 第12回神戸YMCAチャリティーラン

チャック・ウィルソン氏の提唱により、参加者や支援者たちによる支援金で「日本中の障がいのある子どもたちがYMCAの夏のキャンプに参加できるように」との願いから、1983年に東京で始まったランニングの大会です。神戸YMCAの大会は12年目になりました。今年も11月3日「しあわせの村」において、小学生から一般のグループまでたくさんの方々がちょっと寒くなったが、最高の秋空の下で楽しい一日を過ごしました。



我が芦屋ワイズはおなじみの「チヂミの店」の出店と、グループランに出場する芦屋みどり福祉作業所の3チーム（みどりの光、みどりの風、みどりの雲）の応援と、その送迎のお手伝い、並びにクラブとしての支援金、11名の個人支援金、個人の真珠装飾品の提供などで十分な協力ができたと感謝しています。尚、例会の場所を提供されている「ホテル竹園」さんからも金券の提供のあったことも合わせ報告します。

「チヂミ」は芦屋さくら祭りも含め今や芦屋クラブの定番として名が知られるようになってきました。度を重ねるごとに要領もよくなり、段取りもたいへんスムーズに進みました。前日、東部市場で野菜の仕入れをし、柏原邸で楽しくにんじん刻み・・・準備は順調に進み万端OK。最近では神戸ポートクラブの鈴木誠也メンのご協力で大形鉄板が借りれるようになり、作業が便利になり「焼き手」の腕もますます磨きがかかってきたようです。

当日、井上、上野両メンは芦屋みどり作業所の方々の送迎に協力くださり、他の参加のメンバー共々現地に集合し、「チヂミの店」の設営と営業開始。昼過ぎには240食の完売となった。収益金からYMCAには2万円の支援ができたことを報告します。今回は右記の方々（敬称略）が直接参加協力くださいました。お疲れ様でした。

羽太英樹

11月3日、神戸しあわせの村で行われたチャリティーランに、今年も作業所のみんなと参加させて頂きました。朝8時20分に上野さんと井上さんが作業所まで迎えに来てくださり、みんなで元気に出かけました。



今年も3つのグループランチームができ、14名が集まってくれました。嬉しかったのは「ウォークだけど参加したい。」と言ってくれたTちゃんを中心にウォークチームができたことです。

いつも荷物番ばかりさせてしまい申し訳ないと思っていた新谷君のお母さんもウォークチームでみんなと一緒に汗を流してくださいました。風が冷たい肌寒い一日でしたが、そんなことお構いなしの気持ちいいRUN&ウォークでした。記録タイムがわからなかったのはとても残念でしたが、きっとぼっちり優勝タイムだったのではないのでしょうか？



ワイズメンズの皆様、今年も私たちが暖かく応援して下さりありがとうございました。チヂミ美味しかったです。

来年もまたさらにパワーアップして参加したいと思います。

芦屋みどり福祉会 大澤昌子

参加メンバー

飯田義雄、田舎庸男、田舎利子、井上雅司、上野恭男、柏原佳子、加輪上敏彦、桑野友子、都筑省三、堤清、羽太英樹、橋本潤（連絡主事）、大澤昌子（みどり作業所引率）

### 2009年スケッチ紀行（I）

吉岡浩一

今回の旅はフランス シャンパーニュからアルザスを歩き、ドイツに入ってハイデルベルク、フランクフルト迄の約2週間の行程でした。佐野先生の企画される旅に2005年に初めて参加させて頂いて5回目となります。5回目にして初めての経験という事がいくつかありました。まずは、関空出発が3時間半遅れるという出鼻をくじかれるハプニングです。出発機はあるのにその機に乗り継ぐ飛行機の関空到着が遅れたというのです。ブツブツ言い乍らも、めいめい渡されたリストの利用可能な食事処に入りワイガヤのうちに時間が経過しました。始め良ければ...の逆が実際に起きてびっくりしました。帰国の日、フランクフルト市内のホテルから空港へのバスが何時まで待っても来ません。手配違いとかで結局タクシーに分乗して空港へ走り事なきを得ましたが一時は肝を冷やしました。大事には至らず幸いでしたが、早朝散歩のO氏が自転車通勤の女性と接触、倒れた両者共に無傷でサ ヴァ？と言いつつ合点とか。

もう一つの事件は、I氏がスケッチしている横に男（I氏曰く“ジブシー”）が来て指輪を拾って見せて“貴方のだろう？”と親切そうに言うのだそうです。勿論I氏の物ではないので、そう云っても納得せずI氏のポケットに入れようとするので辟易した彼は5ユーロを男にやっつけたのです。I氏をカモとみた男は更に執拗に色々言い出し、困ったI氏は座っていた携帯用の椅子を振り上げたら男は驚いて逃げるように立ち去った、というのです。その際忘れずに小道具の指輪もしっかりしまい込んで行った、というから笑います。I氏は皆にもし男が凶暴でナイフ等の凶器をもっていたらどうなったの？と指摘されて青くなっていましたが、いずれにせよ全て大事件となる事なく無事



終わったから良かったものの、いずれも一歩間違えると大変な事になる可能性を秘めた初めての経験でした。（次号に続く）

## 10月第2例会議事録(抄)

日時：2009年10月28日(水)19:00～21:00

場所：芦屋西教会 (敬称略)

出席者：飯田会長、井上、上野、柏原、桑野、堤、羽太、福原、堀江、吉岡 & 橋本連絡主事 (11名)

### 報告・協議・確認事項

#### ◇クリスマス例会(12/23)について

クリスマス委員(飯田、井上、柏原、福原)で委員会を開催。役割分担、プログラム等を作成する。

#### ◇会計報告について

羽太メンより9月会計報告があり、承認された。

#### ◇会費およびYMCA維持会員会費未納問題について

会費関連未納は本人の意思などを確認した上で、さらに広義会員扱い等を検討する。

YMCA維持会員会費未納はクラブ規約で決まったことを軸にクラブ運営の推進と本人の意向も重視しさらに検討する必要があると思われる。なお芦屋クラブのリーフレットなどを作成し、新規会員を含めて周知を図ることが重要となる。

#### ◇他クラブ周年行事参加案内について(参加予定者)

和歌山(12/13)：飯田会長、上野、柏原、桑野、吉岡

姫路(1/31)：井上、島田(ゲストスピーカー)

神戸・京都エイブル(2/20)：未定

#### ◇2010年国際大会で鎌倉、もりおか、熊本みなみ、芦屋の4クラブDBCナイトをもつ。 書記 堀江哲次

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

## 理事通信11月号(抜粋)

09-10西日本区理事 鈴木誠也



オバマ大統領のノーベル平和賞は驚きですが、まさに「核廃絶」「CO2削減」は理想や夢ではなく現実にならなければならないことなのだとの実感を持つことができます。鳩山体制は難問山積ですが、

いろんなチェンジを実行し始めています。この時を先駆けて西日本区は動いています。「できるかな？」ではなく、「やってみましょう。」「ワイズの『理想主義者たれ』にチャレンジしましょう。」広島での第13回西日本区大会では、ぜひワイズメンズクラブとしての「核廃絶、CO2削減宣言」を世界へ向けて発信し、横浜国際大会へ届けたいものです。

さて、9月に続いて10月には瀬戸山陰部・びわこ部・九州部・西中国部で部会が開催されました。それぞれに特徴ある部会がすべて終了いたしました。理事はじめキャビネット一同、すべての部会に参加させていただくことができ深く感謝いたします。それぞれの楽しい中にも規律のとれたワイズメンの部会でした。ご準備いただきました部長・実行委員会・ホストクラブの皆様へ深く感謝申し上げます。総出席者数はほぼ会員数の1700名を数えましたので、広島西日本区大会には4割(=800名)、と横浜の国際大会には3分の1(=600名)の参加登録を目指しましょう。

「ゴーゴー横浜！ ゴーゴー600」



## YMCA チャリティーゴルフ(青少年育成基金)

芦屋クラブから4名(飯田、上野、島田、柏原)が参加。プロコーチからは強く、来年まで待ちなさいと言われましたが(先生の名誉の為)、ラウンドを一つでも多く回り経験をしなければ、あの平穏な練習場でいくら打ったって！というのやはり3名の方には申しわけなかったと反省しきり。インフルエンザ菌など無縁の青空と緑の草原を気持ちいい掛け声を

耳にしながら追いつき走り、走り・学びもあり。芦屋クラブの名誉のための公表ですが、堂々2位の島田メンには賞品のお裾分けにも預かり、ナイスロングショットの飯田会長、上野メンは長年のスランプ



を一気に抜け出され？たかのような素晴らしい40台のスコアも出され夢は大きく膨らみます。春よ来い！ 柏原佳子

## YMCAニュース

連絡主事 橋本 潤

◇「YMCA地球市民育成プロジェクト2009」の研修が始まります。ご支援有難うございました。

#### ◇第21回チャリティーゴルフ開催

10月14日(水)、61名が参加して三木市のジャパンメモリアルゴルフクラブで開催された。第1回からの累積募金は約700万円近くとなり、多くがボランティアリーダー養成のために使われています。

#### ◇秋のバザー、カーニバルなど盛況

西宮、学園都市、三田、神戸の各YMCAにて開催、いずれも天候に恵まれ、多くの人々で盛況でした。多くのご奉仕、献品、献金などに心から感謝いたします。

## 今後の予定

◇世界YMCA・YWCA 合同祈禱週11月8日(日)～14日(土) 今年のテーマは「いま、地球市民として生きるために」(Striving for Global Citizenship for All)で、コミュニティで抱える問題が地球規模の課題でもあることに気付き、世界の連帯が必要であることを考え、祈る時としたいと思います。

#### ◇第20回チャリティーワイン

日時：11月13日(金)午後6:30～8:30  
場所：神戸ポートピアホテル南館4階「レヴァンテ」  
会費：8,000円

#### ◇YMCAセミナー YES! キャンペーン

これまで絶望視されてきた核兵器廃絶ですが、オバマ大統領の登場により新たな流れが生まれようとしています。「平和は正義よりも大切だ」と、ヒロシマから訴えてこられたリーパーさんのお話を伺います。また、広島の子どものための平和創作劇「I pray」も上演されます。是非、ご参加ください。

日時：11月28日(土)午後3:00～5:30  
場所：神戸栄光教会  
講演：「今、逃してはならない平和へのチャンス」  
講師：ステイブン・リーパー氏(広島平和文化センター理事長)

編集後記：◇11月3日は師走の寒さ、4日からは一転して10月中旬の暖かさ、季節は行きつ戻りつ秋は深まっています。インフルエンザにお気をつけ下さい。◇西日本区理事スタッフの皆様、部会訪問お疲れ様でした。 桑野友子